

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2317 号

A Study on The Prevalence, Distribution and Related Factors of Heart Valve Calcification Using coronary CT Angiography

冠動脈 CT を用いた心臓弁石灰化の有病率、分布、関連因子に関する研究

加茂 夕紀 (かも ゆうき)

博士 (医学)

#### 論文審査結果の要旨

本論文は、冠動脈 CT を用いてアジア人における心臓弁石灰化の有病率、関連因子を初めて明らかにした臨床的に意義ある論文である。

心臓弁石灰化の有病率と各弁尖ごとの分布のみならず、大動脈弁においては弁尖間の連合部の石灰化の有無についても詳細に観察している。また近年、心臓弁の石灰化は active atherosclerotic disease であるという概念が受け入れられているが、冠動脈硬化との関連については完全に解明されていない。そのためその中でも特に有病率の高い 2 弁について、冠動脈 CT で得られた冠動脈石灰化スコアと有意狭窄について grade に分け、それらも含めて関連因子を検討している。関連因子については、心臓弁石灰化の存在の有無だけではなく、石灰化スコアから得られた定量評価についても検討し、その結果冠動脈石灰化は大動脈弁石灰化の存在については有意な関連を認めた一方で、大動脈弁石灰化の定量評価や僧帽弁石灰化とは関連がなかった。また冠動脈 CT における冠動脈狭窄重症度はいずれにおいても関連を認めなかった。さらに本研究で得られた結果の違いから、石灰化の発生・増加の過程を論理的に考察し、その考察から次の研究への展望も見出している。今後は prospective に経過を追うことにより、新たな臨床的に意義のある結果を得られることが期待できる。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。